

G143		環境経済学	
英名科目名	Environmental Economics		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	大島 堅一		
開講期間	2021年09月22日（水）～2022年01月19日（水） 1講時 09時15分～10時45分（毎週水曜日） 開講2021/11/3（水・祝） 休講2021/12/22（水）		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	水曜日 1講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	深草学舎		
授業定員			
単位互換生定員	50	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	平常点（60％）：毎回の講義で小テストを課す。これが平常点になる。 レポート（40％）：講義期間中に試験に変わるレポートを課す manabaのコースニュースを第1回目の授業前に確認すること。第1回目からオンライン授業の可能性もある。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円（単位互換履修生は不要）		
別途負担費用			
その他特記事項	<p>【会場】 龍谷大学深草学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。</p> <p>【授業時間外における予・復習等の指示】 適宜指示する。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 1) 最新情勢を扱いますので、集中して受講して下さい。 2) 特に、今年度はコロナウイルス感染防止のため、対面授業に切り替わった場合も、次の措置をとります。 発熱や風邪の症状がある人など、体調が悪い人の出席は認めない。 基礎疾患のある人、免疫力が弱い人は、無理に授業に出席しなくて良い。</p> <p>、 の人には、事前または事後に届けをだす。 、 の人が不利にならないよう、授業内での出席や、教室でしかできない課題などの配点については適宜考慮する。 平常点については、、 の人に不利にならないように配慮する。</p> <p>【オフィスアワー・教員との連絡方法】 メールで連絡してください。</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	<p>【講義概要】 環境問題は、人類の経済活動によって生じる問題である。それゆえ、経済を環境的に持続的なものに転換することができれば環境問題を解決できる。そのとき基礎となるのが環境経済学である。本講義では、福島原発事故を中心に具体的事例を取り上げながら、環境経済学から解決方法について考える。</p> <p>【講義方法】 新型コロナ感染拡大によっては、適宜オンラインでの講義を行う。</p>		

<p>対面授業、オンライン授業の扱いについては、適宜manabaのコースニュースに当科目のガイドラインのURLを掲示する。そのガイドラインに、講義ビデオや配付資料のリンクなどを掲示する。受講前に必ず参照すること。 資料配付は上記のガイドラインで行う。 コロナウイルス感染拡大状況によって、講義方法が変化する場合がある。全て、上記ガイドラインで連絡するので、必ず参照すること。</p> <p>【到達目標】 （1）環境問題の原因を理解する。 （2）環境経済学に関する基礎的知識をえる。 （3）環境問題に、経済学の観点からアプローチできる。</p>	
<p>講義スケジュール</p> <p>第01回 環境の政治経済学とは何か 第02回 エネルギー利用と経済 第03回 原発の仕組みと特徴 第04回 福島原発事故はなぜ起こったか 第05回 福島第一原発事故の被害 第06回 原発の費用と負担 第07回 原発事故被害の賠償制度 第08回 原子力発電の負の遺産をどうするか 第09回 福島原発事故後のエネルギー政策 第10回 気候変動にどう対処するか 第11回 再生可能エネルギー普及政策と課題（1） 第12回 再生可能エネルギー普及政策と課題（2） 第13回 電力自由化の課題（1） 第14回 電力自由化の課題（2） 第15回 まとめ</p>	
教科書	大島堅一 『原発のコスト』（岩波書店） 大島堅一 『原発はやっぱり割に合わない』（東洋経済新報社）
参考書	植田和弘 『環境経済学』（岩波書店）